



2021年4月12日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証マザーズ)
問合せ先 取締役総務部長 田中 英樹
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

**全自動 PCR 検査装置用「COVID-19 (SARS-CoV-2)」
変異検出用試薬（研究用試薬）を4月19日より販売開始**

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社(以下PSS、本社:千葉県松戸市)は、日本国内での「COVID-19(新型コロナウイルス)」感染防止に向け、提携する ELITechGroup(以下エリテック社、本社:フランス、パリ)製の COVID-19 ウィルス変異検出用試薬「SARS-CoV-2 Variants ELITe MGB® Kit」及び「SARS-CoV-2 Variants- ELITe Positive Control」を4月19日より販売開始致します。(入荷次第、なるべく早く製品をお届けできるように、本日4月12日より先行受注の受付を開始致します。)

本試薬は、PSSが販売する全自動PCR検査装置「ジーンリード エイト」と「エリート イン지니어ズ」に対応した、COVID-19 ウィルスの変異である「N501Y」及び「E484K」変異を同時検出するマルチプレックスPCR試薬になります。「ジーンリード エイト」及び「エリート イン지니어ズ」によって検出された陽性検体のPCRテンプレート(核酸溶出液)を用いることにより、新たに検体採取を行うことなく、迅速に変異検出の再検査を行うことが可能です。これにより地方衛生研究所や感染研究所によるゲノム解析の結果を待たずに、医療の現場にて従来株感染と変異株感染との区別が可能となり、院内感染防御対策等の一助に成る事が期待されます。
(現在、日本国内のみならず COVID-19 の変異株による感染が世界中で拡大しており、日本国内においては英国株、南アフリカ株、ブラジル株などの変異株が確認されております。上記3つの変異株のうち、共通した変異である N501Y 変異に加えて、英国株以外の変異株は E484K 変異を伴っています。)

PSSは引き続きPCR検査の全自動による省力化、人為ミス及び感染リスクの軽減だけではなく、洗練された核酸(遺伝子)抽出技術を活かして COVID-19 検査の迅速化・高感度化実現による医療現場での貢献を果たしていきたいと考えています。

以上

記

【参考情報:製品の概要】

「SARS-CoV-2 Variants ELITE MGB® Kit」:

エリテック社が製造し、PSS が日本において販売を行うエリテック社の「COVID-19 変異株」検出用 PCR 試薬。

※本製品は- 20℃以下での保管が必要な液状試薬となります。

※本製品は研究用試薬となります。

※検出する変異は N501Y 、E484K となります。

